

乗用車—常用ブレーキ装置—強度ダイナモメータ試験方法

Passenger cars—Service brake—Structural integrity dynamometer test procedure

1 適用範囲

この規格は、乗用車の正常に作動する常用ブレーキのイナーシャダイナモメータによる強度試験方法について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この引用規格は、付記された西暦年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。

JIS D 0210:1995 自動車ブレーキ試験方法通則

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語は、**JIS D 0210:1995** の箇条 2 によるほか、次による。

3.1

減速度 7.8 m/s^2 相当トルク（理想配分 80 % 相当トルク）

車両が、減速度 7.8 m/s^2 で停止するときの荷重移動を考慮した場合のブレーキ 1 輪当たりの必要トルクで、その計算式は、次による。

a) 前進方向制動時

$$\text{前輪} \quad T_{\text{fr}} = \frac{0.8}{2} \left(W_{\text{f}} + 0.8 \frac{H}{L} W \right) r_{\text{f}}$$

$$\text{後輪} \quad T_{\text{rr}} = \frac{0.8}{2} \left(W_{\text{r}} - 0.8 \frac{H}{L} W \right) r_{\text{r}}$$

b) 後退方向制動時

$$\text{前輪} \quad T_{\text{fr}} = \frac{0.8}{2} \left(W_{\text{f}} - 0.8 \frac{H}{L} W \right) r_{\text{f}}$$

$$\text{後輪} \quad T_{\text{rr}} = \frac{0.8}{2} \left(W_{\text{r}} + 0.8 \frac{H}{L} W \right) r_{\text{r}}$$